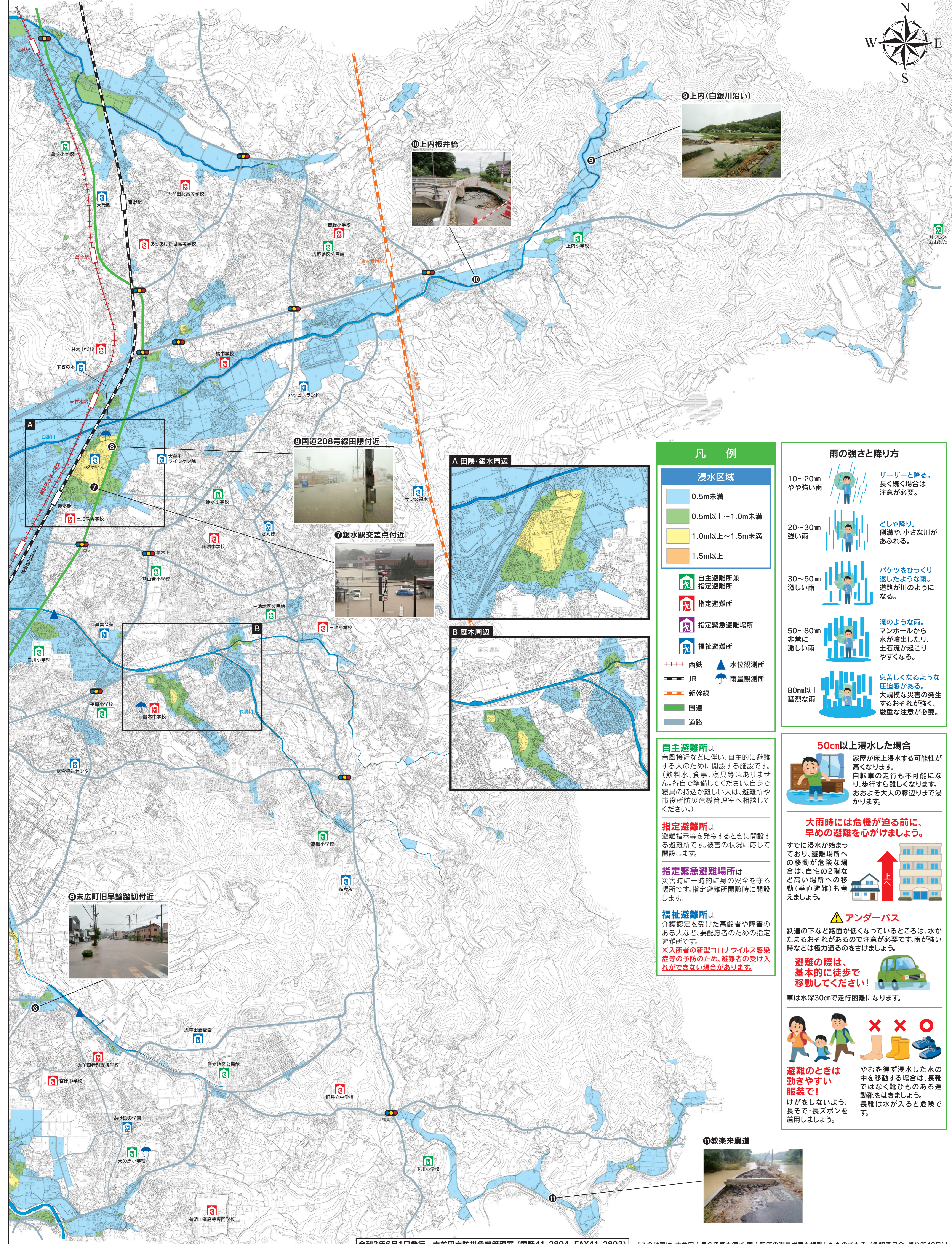


令和2年7月豪雨 浸水マップ

この浸水マップは、令和2年7月豪雨における浸水区域について、国土地理院が作成した浸水推定図や、福岡県による河川流域の浸水調査、大牟田市消防団による聞き取りなどを参考に作成したものです。そのため実際の浸水区域、深さが一部異なる場合があります。

令和2年6月発行の「大牟田市防災ハザードマップ」も参考に、災害時の避難行動について考えましょう。



⑨上内(白銀川沿い)



⑩上内板井橋



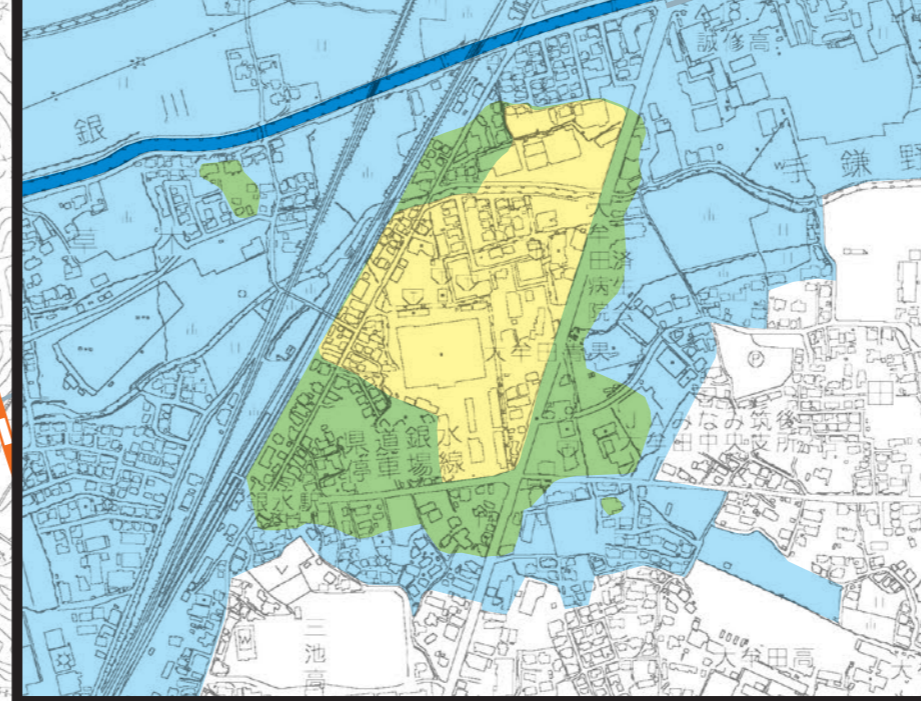
⑧国道208号線田隈付近



⑦銀水駅交差点付近



A 田隈・銀水周辺



B 歴木周辺



凡例

浸水区域

- 0.5m未満
- 0.5m以上～1.0m未満
- 1.0m以上～1.5m未満
- 1.5m以上

自主避難所兼指定避難所
 指定避難所
 指定緊急避難場所
 福祉避難所

西鉄
 JR
 新幹線
 国道
 道路

水位観測所
 雨量観測所

雨の強さと降り方

10～20mm
やや強い雨

20～30mm
強い雨

30～50mm
激しい雨

50～80mm
非常に激しい雨

80mm以上
猛烈な雨

ゴーザーと降る。長く続く場合は注意が必要。
 どしゃ降り。側溝や、小さな川があふれる。
 バケツをひっくり返したような雨。道路が川のようなになる。
 滝のような雨。マンホールから水が噴出したり、土石流が起これやすくなる。
 息苦しくなるような圧迫感がある。大規模な災害の発生するおそれ強く、嚴重な注意が必要。

50cm以上浸水した場合

家屋が床上浸水する可能性が高くなります。自転車の走行も不可能になり、歩行すら難しくなります。おおよそ大人の膝辺りまで浸かります。

大雨時には危機が迫る前に、早めの避難を心がけましょう。

すでに浸水が始まっており、避難場所への移動が危険な場合は、自宅の2階など高い場所への移動(垂直避難)も考えましょう。

アンダーパス

鉄道の下など路面が低くなっているところは、水がたまるおそれがあるので注意が必要です。雨が強い時などは極力通るのを避けましょう。

避難の際は、基本的に徒歩で移動してください!

車は水深30cmで走行困難になります。

避難のときは動きやすい服装で!

やむを得ず浸水した水の中を移動する場合は、長靴ではなく靴ひものある運動靴をはきましょう。長靴は水が入ると危険です。

けがをしないよう、長そで・長ズボンを着用しましょう。

⑪教条来農道

